

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

足羽山魅力向上プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井市

3 地域再生計画の区域

福井市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

福井市は、福井県の北部、九頭竜川・足羽川・日野川により形成された福井平野の中央に位置する。東方は飯降山などからなる越前中央山地、西方は国定公園にも指定されている越前海岸に面するなど、山、川、海に囲まれた豊かな自然環境を有している。

特に、市街地の南西に位置する足羽山は古くから人との関わりが深く、古墳時代には多くの古墳が築かれた。明治 42 年に足羽山公園として整備された後、昭和 27 年には「福井復興博覧会」の第二会場として郷土博物館や天文台（ともに現在の自然史博物館）、動物園等の施設が設置され、翌 28 年に足羽山古墳群として県指定史跡となった。平成 2 年には足羽川と共に「さくら名所 100 選」に選ばれている。

これらの自然や歴史に恵まれていることから、足羽山はまちなかの貴重な観光資源であるが、近年の足羽山主要施設の入込客数は 14 万人台で推移しており、北陸新幹線金沢開業の波及効果が見られた平成 27 年度には 15 万 5,285 人に達したが、翌 28 年度には再び 14 万 8,992 人に落ち込むなど伸び悩んでいる。

足羽山主要施設の入込客数

(単位：人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
足羽山公園遊園地	106,242	105,573	107,563	118,787	110,559
自然史博物館	18,473	25,639	18,681	19,325	18,713
愛宕坂茶道美術館	9,910	9,010	9,412	9,402	10,480
橘曙覧記念文学館	6,589	7,494	8,977	7,771	9,240
合計	141,214	147,716	144,633	155,285	148,992

4-2 地域の課題

本市では、平成30年の福井しあわせ元気国体・大会や、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開催、その後の北陸新幹線福井開業などを控え、観光誘客拡大の好機が集中する大きな転換期を迎えている。人口減少が進む中で、地域経済の活性化やまちの賑わい創出を図り、本市の地方創生につなげるためには、交流人口の拡大が喫緊の課題となっていることから、この機を逸することなく本市の重要な観光資源である足羽山の誘客拡大に向けた対策を講じる必要がある。

本市が平成27年度に足羽山公園利用者に対して行ったアンケートによると、足羽山に求めることとして「自然・景観の保全」(16.9%)のほか、「道路・遊歩道の整備」(15.7%)、「案内表示の整備」(7.2%)、「駐車場の新設・拡大」(6.0%)などが挙げられている。このことから、自然豊かな足羽山を観光地として活かしていくためには、足羽山へのアクセス性と回遊性の向上、また、公園内の散策路などの歩行者動線の強化が課題となっている。

4-3 目標

市街地に位置しながらも優れた自然環境を有し、歴史的資源に恵まれている足羽山は、他都市との差別化を図ることのできる重要な観光資源であり、本市中心部の観光の核としての役割が求められている。本プロジェクトでは、足羽山の特徴である自然・景観、歴史・文化を活かし、眺望スポットや案内サインの整備、回遊性を高める園路等整備、動物とのふれあいや自然を感じられる環境づくりなどにより足羽山の魅力を高め、交流人口の拡大を図ることを目的とする。

【数値目標】

事業	足羽山魅力向上プロジェクト		年月
	足羽山公園入込数	足羽山主要施設*入込数	
申請時	222,000人	148,992人	H28.3
初年度	240,000人	160,000人	H31.3
2年目	260,000人	170,000人	H32.3
3年目	280,000人	180,000人	H33.3

(※足羽山主要施設：足羽山公園遊園地、自然史博物館、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館)

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

市街地に位置しながらも優れた自然環境を有し、歴史的資源に恵まれている足羽山は、他都市との差別化を図ることのできる重要な観光資源であることから、足羽山の特徴である自然・景観を守り、歴史・文化を活かした環境を整備して魅力を高める。また、関連施設である愛宕坂茶道美術館や橘曙覧記念文学館などにおいてイベントや展示の充実を図るなど、足羽山への誘客拡大を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例
(内閣府):【A2007】

(1) 事業名: 足羽山魅力向上プロジェクト

(2) 事業区分: 観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

本市では、平成30年の福井しあわせ元気国体・大会や、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック開催、その後の北陸新幹線福井開業などを控え、観光誘客拡大の好機が集中する大きな転換期を迎えている。人口減少が進む中で、地域経済の活性化やまちの賑わい創出を図り、本市の地方創生につなげるためには、交流人口の拡大が喫緊の課題となっていることから、この機を逸することなく誘客拡大に向けた対策を講じる必要がある。

市街地の南西に位置する足羽山は、自然や歴史に恵まれていることから、まちなかの貴重な観光資源であるが、近年の足羽山主要施設の入込客数は14万人台で推移しており、北陸新幹線金沢開業の波及効果が見られた平成27年度には15万5,285人に達したが、翌28年度には再び14万8,992人に落ち込むなど伸び悩んでいる。

本市が平成27年度に足羽山公園利用者に対して行ったアンケートによると、足羽山に求めることとして「自然・景観の保全」(16.9%)のほか、「道路・遊歩道の整備」(15.7%)、「案内表示の整備」(7.2%)、「駐車場の新設・拡大」(6.0%)などがあげられている。このことから、自然豊かな足羽山を観光地として活かしていくためには、足羽山へのアクセス性と回遊性の向上、公園内の散策路などの歩行者動線の強化が課題となっている。

市街地に位置しながらも優れた自然環境を有し、歴史的資源に恵まれている足羽山は、他都市との差別化を図ることのできる重要な観光資源であり、本市中心部の観光の核としての役割が求められている。本プロジェクトでは、足羽山の特徴である自然・景観、歴史・文化を活かし、眺望スポットや案内サインの整備、回遊性を高める園路等整備、動物とのふれあいや自然を感じられる環境づくりなどにより足羽山の魅力を高め、交流人口の拡大を図ることを目的とする。

(事業の内容)

・ 散策環境整備事業

足羽山を快適に散策が楽しめる山とするため、園路や遊歩道の整備を

行う。また、四季を演出するサクラ、アジサイ、モミジ等を植樹するとともに、自然環境に配慮しながら展望所を整備し、花と緑が楽しめる良好な散策環境をつくる。

・回遊性向上事業

足羽山でのスムーズな移動と観光の動機付けとなるよう、案内サインや歴史的資源の解説板等を整備する。また、観光客が訪れやすくなるよう、足羽山公園内に自動車駐車場を新たに整備する。

・足羽山魅力体験事業

足羽山公園遊園地での動物とのふれあいや憩いの場となる芝生広場の整備を行う。また、自然史博物館での自然に関する展示の充実を図るほか、足羽山の持つ貴重な自然や歴史、文化を学ぶことのできるイベントを足羽山関連施設で開催する。

→各年度の事業内容

散策環境整備事業

初年度) 歩行者利用の多い園路、遊歩道の階段や手すり等の整備を行う。

足羽山公園内の主要散策ルートを中心にサクラやアジサイ、モミジ等の植栽を行う。足羽山から市街地の眺望を楽しめる展望所を整備する。

2年目) 枝道等の園路、遊歩道の階段や手すり等の整備を進めるとともに、植栽エリアや展望所も順次整備する。

回遊性向上事業

初年度) 行動起点となるエントランスゾーンや駐車場に公園の全体概要が把握できる統一デザインの案内サインを設置する。また、園内2箇所に自動車駐車場を整備する。

2年目) 園路の分岐点や拠点施設に案内サイン及び解説板等を順次設置する。

足羽山魅力体験事業

初年度) 足羽山公園遊園地に芝生広場を整備し、動物とのふれあいイベントを開催する。足羽山の豊かな自然に関する情報発信を強化するため、自然史博物館の展示の充実を図る。

2年目) 動物とのふれあいイベントを展開するとともに、自然史博物館や愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館などの関連施設の展示・イベントの充実を図る。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

本事業は、「福井市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」における基本目標2「福井の魅力を活かし、新しい人の流れをつくる」のうち、基本的方向「美しい福井を磨き上げ、内と外の交流拡大」を推進する施策「福井のよいところの利活用」に位置付けられる事業であり、総合戦略の数値目標のまちなか観光客入込数 104 万人 (H26) →140 万人 (H31) の達成に寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指数 (KPI))

事業	足羽山魅力向上プロジェクト		年月
	足羽山公園入込数	足羽山主要施設*入込数	
申請時	222,000 人	148,992 人	H28.3
初年度	240,000 人	160,000 人	H31.3
2年目	260,000 人	170,000 人	H32.3

(※足羽山主要施設：足羽山公園遊園地、自然史博物館、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館)

(6) 事業費

(単位：千円)

足羽山魅力向上プロジェクト	年度	H30	H31	計
	事業費計		27,279	14,079
区分	委託料	12,800	12,800	25,600
	工事請負費	14,200	1,000	15,200
	原材料費	279	279	558

(7) 申請時点での寄附の見込み

(単位：千円)

年度	H30	H31	計
製造業	1,000	0	1,000
計	1,000	0	1,000

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証を行う。

(評価の時期・内容)

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を取りまとめ、大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証や議会の関与

を得ながら、検証結果の報告をまとめる。

(公表の方法)

毎年度、市のホームページ等にて公表する。

(9) 事業期間

平成 30 年 4 月～平成 32 年 3 月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館運営事業

事業概要：足羽山に位置する愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館において、茶道文化の果たした歴史的役割や、橘曙覧の業績などをテーマにした展示・講座等を開催し、足羽山への誘客拡大を図る。

実施主体：福井市

事業期間：平成 30 年度～平成 32 年度

(2) まちなか観光周遊バス運行事業

事業概要：福井駅から足羽山山頂や周辺観光施設を経由するまちなか観光周遊バスを運行し、足羽山への誘客拡大を図る。

実施主体：福井市

事業期間：平成 30 年度～平成 32 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度、3 月末時点の K P I の達成状況を取りまとめ、大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人

ロビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証や議会の関与を得ながら、検証結果の報告をまとめる。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、市のホームページ等にて公表する。